

袋井市立袋井西小学校 学校だより

西小だより 2月号



子供たちの学びが繋がったら

校長 柴田 禎弘

例年になく温かな1月となり、梅の花も咲き始めました。

1月22日に、インフルエンザで延期となった1,4年生を除く4学年が**長なわ大会**を行いました。子供たちは皆、集中したよい顔をしていました。1位を逃した3年生のある子は「うれしくて、悔しくて、悲しくて、楽しい大会でした。」と言いました。818回という校内でも一番の記録を出した6年3組の子たちにも話を聞くと、4月から体育の授業や昼休みなどで練習を重ねてきたとのことでした。「長なわ跳びを通して**団結力、集中力、仲間を思う気持ち**が高まった。」と自分たちの成長を実感していました。卒業まで残り少ない日々にはしたいことは？と尋ねると「もっと体力を付けたい。」「もっと勉強したい。」「初めて会った子とも仲良くなれるように笑顔でいたい。」と口々に言いました。

さすが、6年生と思いながら、1番になれたからそう思えるのでは？もし結果が出なかったらどうだった？と意地悪く聞いてみました。すると「負けた瞬間は落ち込むと思う。でも、私たちは協力できるから絶対に立ち直れるクラスです。」「僕たちは失敗しても絶対に人のせいにはしないと約束していたから大丈夫だと思う。」と述べました。

4月から全国の小学校で新しい学習指導要領が全面実施となります。2月20、21日の学級懇談会で、その御説明もいたします。予測不可能と言われる時代でも、持続可能な社会の担い手として主体的に生きていくための**資質・能力**を子供一人一人に育てていくために学校は全力で頑張ります。

そのキーワードの一つと考えているのが「**学びをつなぐ**」です。幼稚園、小学校、中学校をつなぐ袋井市幼小中一貫校も4月からスタートしますが、これまで、ややもすると子供の学びは分断されていたのではないかという思いがありました。授業では頑張るけれど、終わると学びもおしまい。去年学んだこともよく思い出せない子が多くいます。地域の方々とふれあい、たくさんのことを学んでいるのに、それが学校の学びとつながらない子もいます。

学んだことと学んだことが繋がって納得したり、**学んだこと**が自分たちの生活や地域の課題とつながっていることに気付いたり、**学び**を通して学級の仲間や地域の方々とつながったり…学びがつながることで成長したことをみんなで実感できたらと、来年度に向けて思いがふくらみます。

6年生の長なわ跳びの取組みは、**学びが繋がった一つの例**です。体育の授業から始まり、学級づくりや仲間への信頼、中学校へ向けた意欲までつながっていました。長なわ跳びを通して、子供たち自身が「成長した」という実感をもっていました。そんな学びを西小学校はこれからもたくさん育てていきたいと思えます。

学校ウォッチング

長なわ大会 (2・3・5・6年)

1月22日(水)に、長なわ大会を行いました。(1・4年生は、かぜやインフルエンザの流行により、延期になりました。)当日まで、どのクラスも、体育の時間や昼休みなど、熱心に練習に取り組んできました。チームの目標に向かってみんなで挑戦する姿は、輝いていました。

多くの皆様の御声援にも、感謝いたします。



代表委員会 (どまん中委員会、各クラス代表)



1月21日(火)に代表委員会を開きました。「ありがとう6年生の会」に向けて、5年生のどまん中委員会と各クラスの代表が、スローガンや歌について話し合いました。「お世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えたい。」「中学校に行っても頑張りたい。」「6年生のことを考えて、活発に話し合う姿が見られました。」

袋井消防署見学 (3年生)

消防署の仕事やいろいろな消防自動車の仕組みにつ



いて、実際に見て聞いて学びました。

学校のホームページでも、子供たちの様子をお伝えしていま

す。ぜひ御覧ください。

HPアドレス <http://fukuroinishi-e.bansyu.jp>



「資源回収」への御協力 ありがとうございました



「資源回収」を12月14日(土)に行いました。PTA役員や保護者の皆様の御協力により、とてもスムーズに回収を行うことができました。早朝より御協力いただきありがとうございました。収益金は本校の教育環境の整備などに活用させていただきます。